

下水道の役割



下水道ができると暮らしはどう変わる？



きれいで住みよいまちになり、
衛生的に暮らしれます！
また、浸水の心配がなくなります！



汚れた水が、住宅のまわりにたまる
と、いやなにおいがしたり、ハエや蚊など
が発生する原因にもなります。下水道
ができると、汚れた水がたまらず、
清潔で住みやすいまちになります。



▶ さわやかな生活ができます。

くみ取り式トイレや浄化槽をやめ、下水道管に直接流す水
洗トイレにすることにより、し尿はほかの汚れた水と一緒に
処理場できれいにされ、衛生的でさわやかな生活がで
きます。



▶ 浄化槽の維持管理をしなくてもすみます。

一般に普及している単独浄化槽は、トイレの水だけを処理する施設で台
所や風呂などの生活雑排水は処理されません。また、合併浄化槽を含め
適正な維持管理をしないと、その機能がはたされません。下水道ができる
と、浄化槽なしで直接水洗トイレの水と生活雑排水を下水道管へ排出
することができ、日常の維持管理から解放されます。

▶ 雨水を排除し、 浸水から暮らしを守ります。

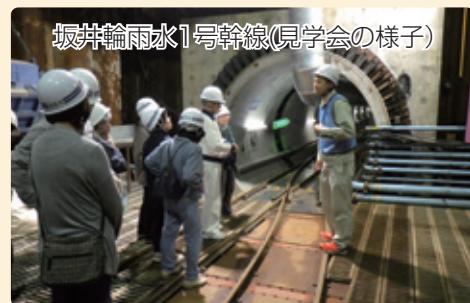
都市化が進み、緑地や空き地が減ると、雨水が地面にしみこむ量が減り、流れ出る雨水の量が一時的に増えて浸水被害の原因となることがあります。下水道は、このような浸水から暮らしを守るために、雨水をすみやかに排除する役割も担っています。



雨水対策について

浸水被害の多い地域では新たに「雨水貯留施設」をつくったり、地盤が低く雨水が自然に流れない地域については、雨水を強制的に川や海に流すための施設として「雨水ポンプ場」をつくって浸水被害を少なくしています。

新潟市では床上浸水など被害の大きかった地域について 10 年に一度の確率で降る雨の強さ（概ね 1 時間当たり約 50 ミリ）をもとに下水道施設の整備を進めています。



大雨が降ったときに、一時的に雨水を貯めておき、貯めた雨水は晴れた日に川へ流します。

防水板設置工事、住宅・駐車場かさ上げ工事助成制度をご活用ください。

浸水被害を軽減するため住宅、店舗、事務所等の敷地内に防水板の設置工事を行った場合に助成金を交付します。また、住宅・駐車場のかさ上げ工事に対して助成金を交付します。助成を受ける場合は、事前に助成金交付申請書を提出してください。詳細は下水道計画課へお問い合わせください。☎ 025(226)2982

防水板設置助成

- 助成対象者：新潟市内に家屋、店舗、事務所等を所有または使用する方
- 助成区域：浸水被害（床上・床下・店舗・車庫浸水）が発生した、又は発生する恐れがある区域の家屋、店舗、事務所等

工事費に対する助成率

助成率	上限額(建物1棟当たり)
1/2	50万円

住宅かさ上げ助成

- 助成対象者：新潟市内に住宅を所有する方で、交付決定以降に着手する工事が対象
※かさ上げ前の住宅高さの確認が必要となります。
- 助成区域：平成10年8月4日及びそれ以降に床上浸水被害が発生した区域

工事費に対する助成率

助成率1/2、上限額100万円
(標準工事単価×建築面積×1/2=助成金)

※支払額が標準単価より安価になる場合は、その支払額の1/2

駐車場かさ上げ助成

- 助成対象者：新潟市内に住宅に付属した駐車場を所有するまたは使用する方
- 助成区域：浸水被害（床上・床下・車庫浸水など）が発生した区域または発生する恐れがある区域

工事費に対する助成率

助成率1/2、上限額10万円
(標準工事単価×駐車場面積×1/2=助成金)
※支払額が標準単価より安価になる場合は、その支払額の1/2

なるほど
ザ・下水道

下水道のお金のしくみってどうなっているの？

下水道にかかるお金は、まちに降った雨をすみやかに排除する雨水処理費と、私たちが使って汚れた水をきれいにする汚水処理費にわけられます。自然現象である雨水の費用は税金（公費）で負担し、汚れた水をきれいにする費用は、下水道使用料（私費）として、皆さんから負担していただいているです。

雨水を排除するお金は税金（公費）を使います



まちに降った雨をすみやかに排除し、浸水から暮らしを守ります。

汚れた水をきれいにして川にもどすお金は下水道使用料（私費）を使います



家庭やお店、工場から出る汚れた水をきれいにして川に戻します。

下水道の費用はどれくらいかかるの？

令和5年度の総事業費は、建設費・維持管理費・借入金の返済など、664億円かかりました。そのうち、131億円は下水道使用料、1億円は受益者負担金・分担金として皆さんから負担していただきました。

なお、下水道使用料等の他には、国からの交付金や企業債の借入、税金（公費）を使っています。

下水道使用料の使いみち

